



機械科ではどんな勉強をするの？

機械科は、機械に関する基礎的な知識から先端技術まで幅広く学習し、将来工業界で主力となる技術者を目指します。

専門科目が充実しています

中学校までの勉強とは異なり、専門科目の時間が多くなります。3年生では一週間の約半分が専門科の授業になります。専門の授業では実習や課題研究と呼ばれる「ものづくり」に直接関わる授業があり、学習の設備も内容も充実しています。

就職に強い！

県内・県外ともに機械関係の求人は多く、卒業後の進路選択の幅が広いのが機械科の特徴です。また、鳥取県内で最も歴史のある本校機械科の卒業生が県内・県外で多く活躍されており、卒業生の進路にもつながっています。

資格は必要だけど...

やたら多くの資格を取得しようとする人もいますが、資格取得が目的になってはいけません。学校生活で大事にして欲しいことは経験です。

ものづくりの経験も部活動での経験も大事な経験です。自分の適性を見つけるために資格取得に挑戦し、将来に目を向けている生徒が伸びます。機械科で取得を進めている資格・検定はいずれも授業の延長線上にあるものが多いです。また、本当に必要な資格は会社に入ってから取得できますよ。

(取得できる資格) 2級機械加工技能士(普通旋盤作業) 3級機械加工技能士(普通旋盤作業) 3級機械保全技能士(機械系保全作業) 危険物取扱者乙種第4類 基礎製図検定 機械製図検定 ガス溶接技能講習

大学進学しようと思っっていますが、できますか？

例年、7割が就職、3割が進学してきますが、大学進学は指定校推薦などの入試方法で受験します。具体的には高校生活の学習の成果を評価してもらう入試方法なので、1・2年生の学習成果次第で大学進学への道も拓けます。近年では鳥取大学、島根大学、私立4年生大学への進学実績があります。

就職は？

将来的に自動車業界に携わりたい、鉄道に興味がある、機械加工の仕事がしてみたい、メンテナンスの仕事にも興味がある。いずれの場合でも対応できるのが機械科の特徴です。ものづくりがしたいと漠然と考えている人がいるかもしれません。その場合は機械科でものづくりの基本を勉強して、進路を見つけていきましょう！近年の就職実績としては、トヨタ自動車(生産専門部)、JR西日本、カネカ、日立金属安来工場、ニッポン高度紙工業、山陰東芝エレベータ、鶴見製作所、米子製鋼、後藤工業、ミネベアミツミ、など、県内外の多くの企業に就職して、地元貢献しています。



旋盤実習の様子



マシニングセンタ実習の様子